

50:50で分け合うものの、実質的にはドコモが経営権を掌握し、同行は2025年10月、ドコモの連結子会社となった。

このTOBは、ドコモがこれまで展開してきた「dポイント経済圏」における金融機能の強化という観点で極めて重要な意味を持つ。既に傘下には証券事業(マネックス証券)やカード・ローン事業(旧オリックス・クレジット、現ドコモ・ファイナンス)を有しており、これにネット銀行が加わることで、預金・融資・資産運用・決済といった主要な金融機能が一気通貫で提供可能となる。ドコモが有する1億人超のdポイントクラブ会員基盤を活用することで、銀行口座開設や金融商品利用の促進が期待され、通信と金融が一体化した強固な経済圏が形成されるのである。